

大阪府北部コミュニティカレッジアクティブシニア科

子どものための里親制度と養子縁組制度について

2024年12月12日 12期生

公益社団法人 家庭養護促進協会

講師 岩崎 美枝子

協会が大事にしてきたこと

子どもは、産んだ親にその家庭で育てられたいと思っている。

子どもが里親に委託される理由とは

病気、経済問題、夫婦関係、離婚、虐待、置き去り、養育不能

養育（短期）里親の役割

預かった里子を、必ず実親に引き取ってもらうことが目的であり、役割である。

最近では、緊急避難的な超短期保護の必要の子どもが増えている。

養育（長期）里親の役割

里親は国から養育費と里親手当が出されているということを、里子に説明する必要がある。

18才になれば、自立するという年齢制限があること、二つの姓をもつことについて里子とよく相談する。

養子縁組の親子を支援する

血縁とは何か、普通養子の子どもにも特別養子の子ども血縁の親は存在する。しかし特別養子の子どもの実親は法的には他人である。

最後のメッセージ

子どもは、自分とは、別人格なのだとか客観視出来た時から、親の肩の力が抜け、そこから親子関係が良好となり、信頼関係が深まる。

1班 小西

